



春日井ロータリークラブ
2014～2015年度 WEEKLY REPORT

クラブテーマ

ロータリアンのフェロシティで、 世界・地域に、何か良い事をしよう!

植物園 ニュートンのリンゴの木

会長：加藤 久仁明 例会日：金曜日12：30～13：30
副会長：蓮野 美廣 例会場：ホテルプラザ勝川
副会長：山田 治 事務局：春日井市鳥居松町5-45
幹事：近藤 太門 TEL：(0568) 81-8498
会報委員会：長谷川 英輝 FAX：(0568) 82-0265



E-mail: ksgl-rc@gaea.ocn.ne.jp

本日のプログラム

- | | | |
|--------------|---------|--------|
| ・点 鐘 | 司会 | 和田 了司君 |
| ・ROTARY SONG | | 加藤久仁明君 |
| ・今月の歌 | 「我等の生業」 | |
| ・ビジター紹介 | 「冬景色」 | 加藤久仁明君 |
| ・食事・歓談 | | |
| ・委員会報告 | | |
| ・会長挨拶 | | 加藤久仁明君 |
| ・卓 話 | 都築 正道君 | 加藤 茂君 |
| ・幹事報告 | | 近藤 太門君 |
| ・点 鐘 | | 加藤久仁明君 |

今月の歌

冬景色

さ霧消ゆる 湊江の
舟に白し 朝の霜
ただ水鳥の 声はして
いまだ覚めず 岸の家

先週の記録

幹事報告

幹事 近藤 太門君

河村哲也君卓話を有難うございました。又、祝福を受けられました皆さんおめでとうございました。

では幹事報告をします。

以前に連絡がしてあります「新会員研修セミナー」が1月31日(土)14時

～名古屋駅の「名鉄グランドホテル」で行われます。

出席義務者は、朽本正樹君、芝田貴之君、大橋省吾君、小川茂徳君です。

尚、受付は13：30分です。

次期インターアクト役員、提唱クラブ次期委員長会議が開催されます。

ロータリー理解推進月間

例会予定	2月6日(金)	2月13日(金)	2月20日(金)	2月27日(金)
	理事役員会 11：30	卓話 藪下 尚武君	祝福	卓話 峠 テル子
	卓話 川瀬 治通君	卓話 朽本 正樹君	卓話 場々大刀雄君	
	卓話 梅村 守君			

ホームページ：<http://www.kasugai-rc.jp>

2015年1月30日(金)2217回(1月第4例会)

日時は2月7日(土)15：00～場所は代官町の名古屋YMCAです。

出席義務者は次期青少年奉仕委員長の加藤宗生君です。

尚、インターアクト提唱クラブは当春日井クラブです。

以上の2点よろしくお願ひします。

次週予告です。次週1月30日は、ビジターの都築正道君と、メンバーの加藤茂君の卓話です。よろしくお願ひします。

◎例会変更の案内

名古屋清須 RC	2月10日(火) 2月7日(土) IMの為
名古屋丸の内 RC	2月19日(木) 2月22日(日) 地区大会の為 ウェスティナゴヤキャッスル
名古屋城北 RC	2月10日(火) ブルーノート例会の為
名古屋空港 RC	2月16日(月) 2月16日(月) 補助金事業の為
江 南 RC	2月19日(木) 2月19日(木)19：00 RAC 合同例会の為 商工会館
岩 倉 RC	2月10日(火) 2月10日(火) 例会場都合の為 和蔵

出席報告

委員長 伊藤 純君

会員 60名	欠席 23名	出席率 61.6%
先々週の修正出席	欠席 3名	出席率 95%

E-mail：ksgl-rc@gaea.ocn.ne.jp

ニコボックス報告 委員長 古屋 義夫君

○遅れましたが今年もよろしくお願ひします

磯野 俊雄君

○誕生祝を頂き有難う御座います 清水 勲君

○本日の卓話を頑張ります 河村 哲也君

○河村君卓話をとても楽しみです 峠 テル子君

○河村さんの卓話楽しみにしています 入会して

一年経ちました、そしてアテンダンス表彰有難う

御座います 芝田 貴之君

○アテンダンス表彰を受ける喜びで！

屋嘉比良夫君

○祝福ありがとうございます 亀谷 鉦一君

○宅間さんお菓子ありがとうございます 加藤 茂君

○祝福の皆さんおめでとうございます

近藤 太門君

○本日の河村くんの卓話を楽しみにしています

また宅間さん節分セットありがとうございます

古屋 義夫君

○河村さんの卓話を楽しみにしております

足立 治夫君

○誕生祝をありがとうございます 早川 八郎君

○卓話 山田 治君

○アテンダンス表彰を受けて 伊藤 純君

○卓話に 伊藤 正之君

○結婚祝ありがとうございます また宅間さんお

菓子ありがとうございます 場々大刀雄君

○河村君の卓話を楽しみにしています

和田 了司君

○河村君の卓話楽しみです 速水 敬志君

○いつも有難うございます 大橋 省吾君

○河村君が卓話楽しみです 青山 博徳君

○河村会員の卓話を楽しみに 貴田 永克君

○河村さんの卓話を楽しみにしています

梅村 守君

○今日もよろしくお願ひします

大畑 一久君 山田 倫章君 岡嶋 良樹君

北 健司君 川瀬 治通君 志水ひろみ君

社本 太郎君 宅間 秀順君 名畑 豊君

成瀬 浩康君 中川 健君 長谷川英輝君

蓮野 美廣君 藪下 尚武君

○ご協力ありがとうございます。 古屋 義夫君

卓話 河村 哲也君 気合い

先ず始めに、皆様の貴重なお時間を、お借りしまして、私の戯言にお付き合い頂きますことに、心から感謝を申し上げます。

時間の、許す限り私の戯言について、しばらくお付き合いください。

卓話については本日が二回目となりますが、前回は私の右足が癌により切断し義足で有るかを話さ

せていただき、結論的に切断後半年も経つとおおよその方は、どうしよもない状況を受け入れ健康者より、前向きになり、精神的に強くなるということ話させて頂きました。

今回の卓話は気合いについて話させて頂きたく思います。

実は、この中にはまだ私が抗がん剤治療をしているかどうか、知らない人も居るかと思いますが、まもなく抗がん剤治療を始めて、一年と言う月日が経ちます(*^*)ここで、また真実を言いますが私は、昨年今の今ごろ主治医からかなり厳しいことを言われました。

それは、一昨年の11月に手術をしました、大腸付近のガンが、二ヶ月後に肝臓と胃の付近へ転移していることが発覚し、その時5年予後生存率が90%難しい可能性もある！年内になくなる覚悟もしてほしいと伝えられました。それが、丁度1年ほど前の事で御座います。

その理由は、私の癌が肉腫 洋語でサルコーマと言ひ凄まじいスピードで大きくなるガンのためでした。

ガンは、大きくなり破裂し、転移し、血栓などを作り出し、体を絶命させて行く、人間の生死の中のプログラムの1つだと感じますが、まさか40代前半ではあまりにも早すぎると感じていますが、まだ、死ぬわけには行かないそれが、私の覚悟となりました。

ちなみに、再転移したガンは、昨年一月から三月の間に五倍の大きさになり、夏場には最悪を覚悟した弱気な私も実は存在しました。

朝起きる時、今日も体が動く、今日も仕事出来る、今日も人と会う事が出来る等感謝にみち溢れます一方今日で、終わりなのかもしれないひょっとしたらそろそろ終わりかもしれない、そんな恐怖も襲います。

そこで私に、私の覚悟をご先祖様が差し出してきたような言霊「もの」が気合いでした。

何しろ、治したい何しろ、治して家族と居たい、未だ終わらすわけにはいかない人生、私の務めもまだまだある！だから、気合いで治すのだと毎日叫び、私自身に気合を醸成させています。

そんな思いで昨年の2月からは、東京の順天堂大学病院と三重大学病院等、駆けずり回りました。当然、抗がん剤の吐き気やだるさ等の副作用を度外視して、片足の義足と共に可能性のある、治療を探して歩き回りました。

都内の、駅、JR御茶ノ水駅はエレベーターもエスカレーターもなく、階段が長い、非常に過酷だったことも、頭によぎり思い出しますがここで、大腿部片足切断者の方の70%は、リハビリにギブアップをし、歩けなくなる事を御報告申し上げます。リハビリって、正直私も泣きながら、耐えたぐら

辛い、辛い訓練と時間でした。

本当に辛く、辛い40歳だから耐えられたのですが、やはり高齢者の方を中心に車イスを永遠に選ぶのも理解できます。

歩ける方でもすさまじい訓練をしたわずかな人はドイツ製の高価な義足をつけると交互に両足を使い階段を登り降り出来るのですが、ここで、こんな逸話もお話します

2001年同時多発テロ 世界貿易センタービルの50階付近にいた、何名かの義足の方ドイツ製の両足階段歩行の義足をつけていて訓練をされた方は階段を使い、逃げ切れたそうです。しかし、両足歩行を出来ない方は亡くなったそうです。

殺気だった階段で転び群衆に踏み潰されたと、私を置き換え想像してしまいました。

私も、右左に階段を上がれない、下がれないのですが、じゃあ、練習すればと言われますが、相当な練習があるので、そこまで行き立つ方は10%もいないと言う事です。

切断からの闘病の話はまだまだ続きます。

話は、戻りますが、昨年8月に、10%の人しか効かないと言われた抗がん剤が、奇跡的に効いてきたので三重大学病院で肝臓のガンを焼くラジオ波治療をしました。

一時、10cmまで育った癌が4cmになったのでラジオ波派の名医 山門先生が「嫁さんと診察に来たら手術、考えてやる。」と言い嫁さんを連れていくと「来月、やってやるわ。」とかなりの上からの話し方でおっしゃってくださいました。

お陰で肝臓ガンを撃破ができました。

しかし、この治療もそんな甘いものではありませんでした。

この治療については、局部麻酔で、痛みなく簡単に終わると思っていましたが左ももの動脈からカテーテルを入れ肝臓動脈まで、カテーテルをたどり着かせ、そこからガンに通じる細い血管を介して、肝臓ガン部位に直接、抗がん剤を流し込む作業をまず行いました。

その時、山門先生は居ませんでした。

精度のよいCTの画像のモニターで私の肝臓部分をタイムリーに見ながら『実験か?と疑い、怖くなりましたが』カテーテル終了後隣の部屋から、山門先生が登場しました。

安心したのはつかの間CTマシンに体を入れたまま1時間半、右腕から造影剤をどんどん流し込みながら肝臓を定期的に撮影し、ラジオ波をあてる針を脇腹から肝臓ガンまで射して、針の位置を撮影で確認しながら針に熱を加えながら焼き尽くす作業を、何回も息をとめながら、何度も何度も造影剤を流し撮影しながら、針の位置を確認し、焼いていくのです。造影剤は20回ほど入れたような気がします。

ちなみに、肝臓は神経がなく痛くないのですが体のメカニズムで、針を射し熱を加えるたびに、右肩が破裂しそうな痛みが入り、言わば、兵隊が敵軍に捕獲され拷問を受ける様な、正に映画ランボーの世界でございまして、治療が終わると、放心状態で、数日高熱にもうなされました。

ここまでの話の流れで何を感じたでしょうか?

私は、私なりの感性があり人の顔色を見ると健康の度合いが、ある程度わかります。

当然、皆様も私の、具合がある程度わかると思いますが、実は、今日現在は第11回の抗がん剤を投与して5日目普通であれば、吐き気等の副作用があり人前で会話はしたくないのが当たり前ですが私は、今日この時が今年目標のひとつで御座いまして、ここにいる皆様に、何とか癌になって手術や抗がん剤と言う流れになった時にどういう気を出せば良いのかを知って頂きたく決して諦めないで欲しいのです。

実は、卓話の話を宅間委員長から頂いた時嬉しかった。しかし、大丈夫かな、当日ここに来られるかな?と言う不安もありました。

しかし、昨年闘病者で5年予後クリアーとなった方に二人会いました。

一人は、この会場にいる人です。その方は、蕎麦屋で昨年、私が一人で食事していると声をかけてくれ「ワシもやばかったが、五年の喪が開けたわ」と言ってくれ、どうしたら良いですかと聞くと気合いしかないなど、真剣に言ってくれました。もうお一方は、私の自宅の外溝でお世話になった、社長さんで、肺を半分取りもう半分に転移し5年予後、やばかったそこでラジオ波治療をして今年8年目を経過し特に異常なしと言う方です。特殊な漢方だけ飲んで後は、気合いですと教えてくれました。

そんな、気合い論をお聞きする中で人生って、最後は気合いだなんて確信しました。

当然、健康についての大切な事は、人よりも深く感じていますがただ、くどいようですが人生には、大切な人との別れがありますが、それが自分の死と言う事での別れが来た時、別れなくなければ、気合いを込めて生きる。今以上に、天道様に喜ばれる事をし、気合いを持続すれば、必ず平均寿命までは生ける、だからこそ皆さん、人生で死を考えさせられる状況に陥った時、これからも生きたい・元気でいたい・大切な人と一緒に居たい、そんな気持ちを執念にかえ、心の中で何時も気合と唱えて下さい。

以上、御清聴ありがとうございました。



卓話 河村 哲也君



アテンダンス表彰



会員誕生日お祝い



結婚記念日お祝い

あしなが奨学生からの手紙

No. 11 ジェニー・エストコニング

あしながおじさん 峠 テル子

親愛なるあしながおじさんへ。こんにちは、もう一度奨学金をくださったことに感謝申し上げます。私たち家族の負担を軽くすることに本当に大きな助けとなっています。そう、特に学校での行事についてお話ししなければいけませんね。私は、2014年の7月30日の栄養の月の最高潮に、こうした行事に参加しました。そして、栄養クイズの競技で第3位になりました。私は好成績だったことと、追加の教養課程学科を最終学年に加えることとなったので、とてもその日は幸せでした。9月4日には、ブロン・ング・ウィカの月を祝いましたが、私は参加することができませんでした。何故なら、メンバーは他の競技でいっぱいになっていて、参加の余地がなかったからです。それでも、私は他の行事を見て楽しみました。学生生活は大変ですが、たとえそうでも、私は家族や、私のあしながおじさんと同じくあなた方に良い成績をプレゼントできるように勉強を続けます。そうすることで、私は家族を貧困から救いだします。私は教育が成功の鍵だと信じています。先週、私は若者のリーダーシップトレーニングに参加しました。よい指導者になるための訓練をするために私たちを選んでくれたことにとても感謝しています。私は学校に奉仕し、今年SSGとして活動しようと計画しているので、この訓練に参加しました。この訓練を通して、私自身に自信が

つきました。なぜなら、子どものころから、人前で話すことがとても恥ずかしかったからです。自分の恐れとも、私は向き合うことができました。もう一度、あしながおじさんありがとう。

